

認知症徘徊（ひとり歩き）
高齢者について

～ 各団体の対応・考え方 ～

島田市の事業



◎ みまもりあいプロジェクト

スマートフォン向けの専用アプリ「みまもりあい」という身元確認用のステッカー「みまもりあいステッカー」を活用し、万が一
行方不明となった場合に家族がアプリから検索依頼を配信し、近隣の協力者が検索を行う。

◎ 徘徊高齢者等事前登録事業

事前に市に認知症高齢者の情報や写真を登録し、警察や地域包括支援センターと共有することで、行方不明となった場合に、速やか
な発見・保護につなげる。

◎ 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

徘徊高齢者等事前登録事業の登録者が日常生活の偶然な事故により、法律上の損害賠償を負担する場合にそなえ、市が個人賠償責
任保険の保険料を負担する。

◎ 地域高齢者見守りネットワークづくり事業

日々の業務の中で高齢者と接する機会が多い市内の事業所等の協力を得て、高齢者を日常的に見守り、支援する体制を充実・強化
する。協力事業者からの通報に対して、地域包括支援センターと連携して対応するとともに、消費者被害等の通報があった場合は関
係機関に情報提供をする。

◎ 高齢者等配食サービス事業

調理や買い物が困難な高齢者のみの世帯等に対して、栄養のバランスのとれた昼食を定期的に提供するとともに、安否確認を行う。

令和3年度に実際に起きた事例 2件



事例1

本人の名前はわかったが（本人が言えたため）、家族の情報は本人からは聞き取れなかったため、家族へ連絡をとるのに時間がかかった。なんとか家族の連絡先がわかり対応できたが、本人は長時間、警察に保護されてしまった。（事前登録をしていなかった。）

事例2

事前登録をしていたが、連携が上手くいかず、検索が遅くなった。その後、本人は山へ入ってしまい亡くなった。

検討内容

認知症徘徊（ひとり歩き）高齢者への対応
【※事前・事後含めて】

各団体でどのような対応が出来るか

見守り方法で
工夫が出来るようなことは何か。

どの団体に、どのようなことをしてもらえると、
活動・対応がスムーズなのか。
また、早期発見につなげることが出来るのか。